

重点課題

【課題1】「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く問題において、「投稿先の名前と住所を正しい内容を楷書で書く」という条件を満たしていないのが22.4%である。(平均正答率63.2%)

【課題2】話し合いの流れを踏まえ「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く問題において、誤答類型以外の答が22.4%である。(平均正答率68.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】書写の時間において、楷書と行書の違いを確認する。また、書体を使い分け、目的や場面に応じて封筒や葉書などの手紙の書き方を身に付ける時間を設ける。

【課題2】話し合いの目的や流れをつかむために、キーワードやキーセンテンス、接続詞等に目し、課題文を読ませるようにする。また、課題文に対する自分の意見を、根拠をふまえながら自分の言葉で表現する活動を設ける。

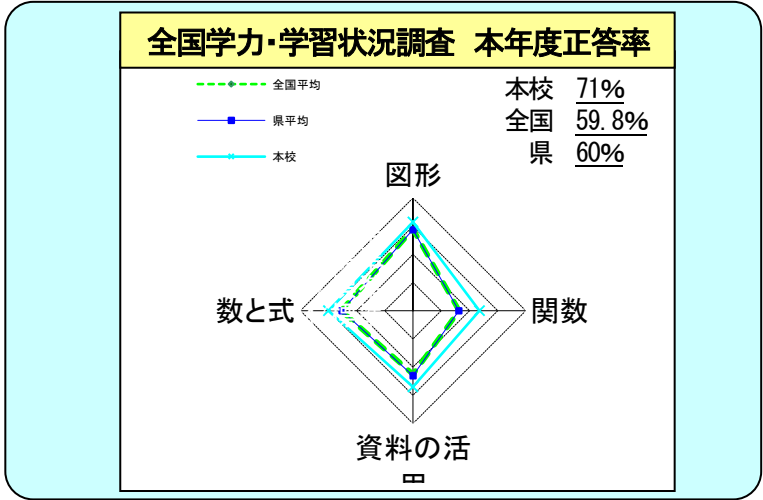
※ 小中一貫した取組については、課題文を読解する力を向上させるために児童・生徒の読書量を増やす取組を進めるようにする。次に、単元のまとめをさせる際には、根拠を明確にして、文字数や記述方法の条件を満たした記述をさせるようにする。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト		3年生 期末テスト	3年生 学年末テスト		
目標値		50%		70%	80%		
実施後数値		45%		60%	75%		

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト		3年生 期末テスト	3年生 学年末テスト		
目標値		70%		75%	80%		
実施後数値		60%		65%	70%		

来年度に向けて

書写の時間で、行書のポイントをしっかり押さえたうえで、文字の練習を行い定着を図る。また、読書量増加のために、ブックトークや、ビブリオバトルなど生徒同士による本の紹介の時間を設ける。



重点課題

【課題1】 グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を事象に即して解釈することができる。関数（平均正答率44.2%）グラフの切片が冷蔵庫の代金であることを理解できておらず2点のy座標の差は総費用だと読み取っている。（誤答48.1%）

【課題2】 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。資料の活用（平均正答率46.8%）
資料の傾向を読み取れず説明ができていない。（無回答5.2%）
既習内容の定着が不十分で、数学的な用語を用いて説明できていない。（誤答28.6%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】 2つの数量関係を表したグラフを数学的な事象と日常の事象とを関係させながら解釈できるようにする。いくつかの具体的な事象をグラフに表したり、グラフ上に表された点を数学的な表現を利用して表す活動を設定する。

【課題2】 具体的な事象から必要な情報を選択し、情報の関係を判断し、ヒストグラムや度数分布表で表し、資料の傾向を数学的な表現を用いて説明できる場面を設定する。また数学的な表現をさせるために基本的な用語の知識を定着させ、知識理解を含むドリル課題を設定する。

※ 小中一貫した取組については、説明を読み取り、必要な情報を選択し、情報相互の関係を判断し、根拠を明確にして解決するようにする。その際、数学的な表現を用いて論理的に説明するようにする。

※ 具体的な日常事象と関連付けることにより、生徒の主体的な学びを促すようにする。

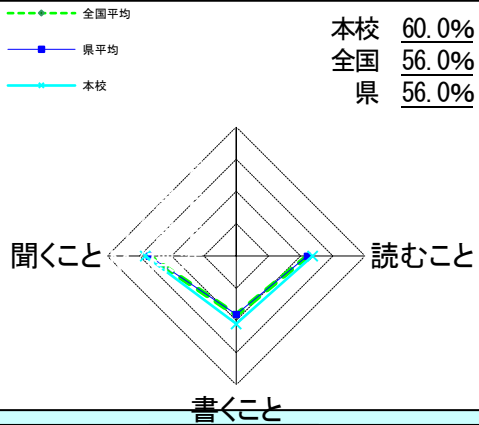
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 復習テスト		3年生 期末テスト	3年生 学年末テスト	3年生 復習テスト	
目標値		50%		52%	55%	60%	
実施後数値		40%		45%	52%	58%	

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 復習テスト		3年生 期末テスト	3年生 学年末テスト	3年生 復習テスト	
目標値		50%		52%	55%	60%	
実施後数値		45%		50%	52%	55%	

来年度に向けて

具体的な事象から必要な情報を選択し、数学的な表現を用いて説明する課題解決の授業をしていく。また、既習内容の知識理解を問うドリルを導入して基礎的な用語についても繰り返し復習していく。

全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題

【課題1】来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く（設問4）5.2%（県8.5%）条件を満たしていない誤答41.6%また無解答も28.6%（県35.4%）と高い。

【課題2】食料問題について書かれた資料を読み、その問題に対する自分の考えを書く（設問8）11.7%（県10.5%）であるが、自分の意見を示していない解答が49.4%（県41.5%）と高い。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- 【課題1】Teacher Talk やオーラルイントロダクションなどを通して、内容把握を目的としたタスクを与え具体的な目的意識をもったリスニング活動を設定する。さらに分かった内容をペアで共有し、「話す」ことから「書く」活動へとつなげる学習を継続する。
- 【課題2】帯活動の時間に、十分な口頭練習（ドリル活動）から自己表現活動へと段階的な学習を設定する。また、教科書の学習内容に合ったテーマ・トピックスを与え、教科書の英文を使って、自分の表現に置き換えて書く課題を設定する。

※ 小中一貫した取組については、相手の意見や考えを読んだり聞いたりし、自分の考えや気持ちを伝え合う活動を学年に応じて設定している。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト	3年生 期末テスト		3年生 学年末テスト		
目標値		8%	10%		15%		
実施後数値		10%	25%		38%		

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト	3年生 期末テスト		3年生 学年末テスト		
目標値		15%	20%		25%		
実施後数値		18%	34%		43%		

来年度に向けて

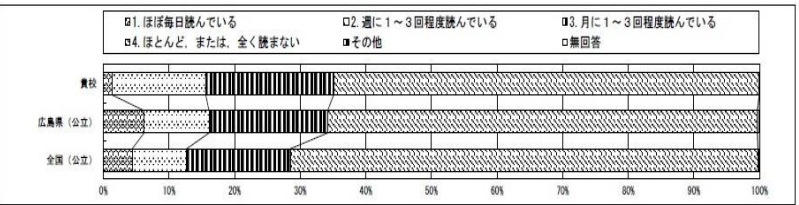
リスニング活動においても、生徒に目的意識を持たせることができるよう具体的な場面設定を与えるように心がけたい。

また、帯時間等を活用して、質問に対する答えだけでなく、自分の考えを述べる活動を設定する。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

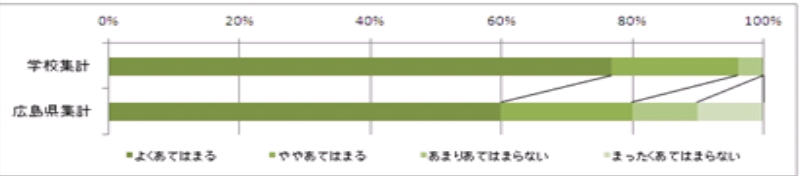
(1) 生活・学習

新聞を読んでいますか。

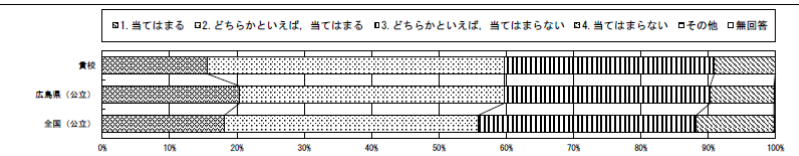


(2) 教科

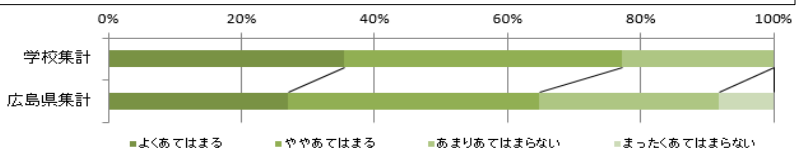
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



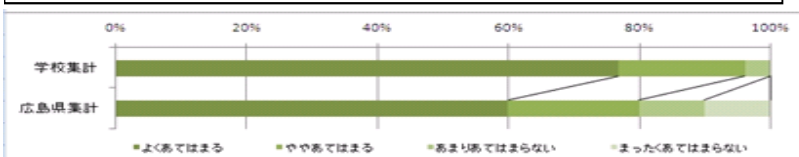
数学の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。



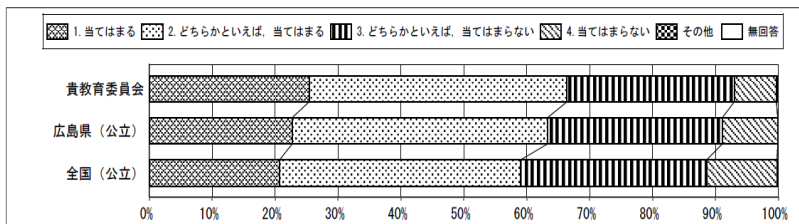
理科の授業の中では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



英語の授業では、(即興で)自分の考えや気持ちなどを、英語で伝え合っている。



	生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
基礎・基本	1か月に何冊くらい本を読んでいますか。読んでいない（32.9%）、3冊より少ない（36.7%）と読書習慣が定着していない。	生徒会委員会から朝読書の呼びかけの徹底と1分間スピーチで「おすすめの本」を紹介する活動を行う。	2	合計値60%以下	生徒アンケート実施	2月	49%
全国	新聞を月に1～3回読んでいる（19.5%）、ほとんど・全く読まない（64.9%）新聞をよく読む生徒が少ない。	朝読書で新聞記事を扱うコラム曜日の取組を継続する。帰りの会での1分間スピーチのテーマを新聞から選び、行う。	3	合計値60%以下	生徒アンケート実施	1月	合計値62%

		生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	基礎・基本	国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。（60.8%）	課題解決に必要な情報を集める方法を学ぶ活動を設け、日常生活の中で生かせるよう工夫する。	2	65%	生徒アンケートの実施	2年	64%
	全国	自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫しています（67.5%）	個人で考えたことを踏まえ、ペアや小グループでお互いにアドバイスし根拠がはっきりした話や文章を作成する活動を設けていく。	3	70%	生徒アンケートの実施	2月	65%
数学	基礎・基本	解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています(55.7%)	班を利用した話し合いの場や理由を問う課題を多く設定し、発表させる。根拠となる用語を使用した場合に的確な評価をしていく。	2	60%	生徒アンケートの実施	2月	60%
	全国	「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の肯定的評価が59.8%と低い。	具体的な日常事象と関連付けた課題を提示し、数学的表現を用いた小グループでの説明場面を設定し、評価活動を取り入れていく。	3	65%	生徒アンケートの実施	2学期末	65%
理科	基礎・基本	理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。(55.9%)	1年生の音の単元や、2学年の電流の単元において、課題を見つけ、解決していく過程を踏まえた授業展開を工夫していく。	2	70%	生徒アンケートの実施	2月	65%
英語	基礎・基本	英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見を話したり書いたりしています。(59.5%)	授業の中で、生徒の日々の生活に関わる話題を開いたり読んだりする場面を設定し、得た情報と既習事項を関連させながら、自分のことについて話したり書いたりする活動を帯時間等を活用し、積極的に取り入れるようにする。	2	65%	アンケート調査の実施	2月	77%
	全国	「原稿などの準備なしで、自分の考えや気持ちなどを、英語で伝えている」の肯定的評価62.4%	メモを基に話す活動を帯学習などに段階的・計画的に設定し、チャットやミニ・ディベートなどの表現活動につなげていく。	3	70%	アンケート調査の結果	2月	75%